

2017年12月26日
住信SBIネット銀行株式会社
株式会社日立製作所

住信SBIネット銀行と日立、 AIを活用した金融機関向け審査サービスの創出に向け検討を開始

日立の新アルゴリズム AIと住信SBIネット銀行のデータ取扱ノウハウで大幅な審査精度の向上を実現

住信SBIネット銀行株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:円山 法昭/以下、住信SBIネット銀行)と株式会社日立製作所(本社:東京都千代田区、執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、住宅ローンなどの個人向けローンや、日々の取引データを審査に活用する中小企業向けローンであるトランザクションレンディングに関し、AI(人工知能)を活用した審査サービスの創出に向けた検討を開始することで合意しました。両社は、2016年から共同で進めてきた個人向けローン審査手法に関する実証実験において大幅な審査精度の向上を実現し、これらの成果を活用して、AIによる審査サービスの設計・構築のほか、地域金融機関へのサービス提供などに向けた取り組みを開始します*1。

金融機関の根幹業務の一つであるローン審査は、お客さまの収入や資産の状況などを適切に把握することを通じて、将来を予測する高度なノウハウが求められます。特に住宅ローンは取引期間が長期にわたるため、予測が非常に難しいとされており、複雑なデータの相関を見いだす高度なアルゴリズムの構築が、課題となっておりました。

両社は、2016年10月より、住宅ローンをはじめとするローンの審査においてAI活用の実証実験を開始し、日立の新アルゴリズムを搭載したAI*2と住信SBIネット銀行のデータ取扱ノウハウを組み合わせ、大幅な審査精度の向上を実現しました。これにより、大量のデータからより精緻な審査が可能となり、従来以上に多くのお客さまへの貸出が期待できます。

今後、両社は、2018年度中に、住信SBIネット銀行の住宅ローン審査への適用を図るほか、地域創生への貢献に取り組む地域金融機関などへのサービスの提供に向けた検討を進め、審査精度の向上と効率的・省力的な業務運営を両立させた、持続可能な競争力の実現をサポートすることをめざします。

住信SBIネット銀行は、今後も、AI活用のノウハウと経験を蓄積し、お客さまに常にご利用いただける「あなたのレギュラーバンク」をめざして、さらなる利便性の向上と社会の発展に寄与する新しい価値の創造につとめてまいります。

また、日立は、今回の取り組みをIoTプラットフォーム「Lumada」*3のユースケースとして広げ、今後もさまざまなステークホルダーとの協創を通じて、革新的なITサービスの開発・提供を推進していきます。

*1 本サービスの提供にあたっては、サービス提供先の地域金融機関とともに、個人情報保護法制の遵守やプライバシー配慮のための適切な対策を検討し、講じていく。

*2 日立ニュースリリース(2017年12月26日)

「稀な事象の発生を予測する人工知能を用いて、融資データを活用した貸し倒れ予測の精度向上を確認」
<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/12/1226a.html>

*3 日立の幅広い事業領域で蓄積してきたOT(Operational Technology)とITとの融合により、IoT関連ソリューションの開発と容易なカスタマイズを可能とするIoTプラットフォーム。

■住信 SBI ネット銀行の Web サイト

<https://www.netbk.co.jp>

■日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/>

■商品名称等に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

住信 SBI ネット銀行株式会社 企画部

〒 106-6018 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー18 階

TEL:03-6229-1247

株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 金融システム営業統括本部 [担当:高島、小清水]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
